

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 24 日作成)

委員会名	電磁場計測評価 WG	主 査 名：平井 淳一
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (電磁環境小委員会)	委員長名：鉾井 修一
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	現在, 建物空間における電磁環境評価が各機関, 各所で行われているが測定法ならびに評価法が統一されていないのが現状である。今後, 建物空間での良好な電磁環境構築には, この基礎となる電磁場の計測・評価方法の統一化および標準化が必須である。本ワーキングではこの標準化作業を実施する。	
委員構成 (委員名(所属))	平井淳一(鹿島), 尾園明彦(国土交通省), 影山健二(竹中工務店), 川崎恭正(アソシエイトテクノロジー, 2003.11 退任), 黒沼 弘(協立電子工業), 三枝健二(日大), 志田浩義(トヨタ EMC インテグレーション), 富樫元康(日本板硝子環境アソシエイト), 長田耕治(清水建設), 永野 真(セトアル硝子), 橋本敏彦(アソシエイトテクノロジー, 2003.11 着任), 堀之内淳(光洋産業), 森田 篤(安藤建設), 吉野涼二(大成建設)	
設置 SWG (SWG 名: 目的)		
2003 年度予算	50,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003.3.20./7 名, 2003.4.22./7 名, 2003.5.30./9 名, 2003.7.4./6 名, 2003.9.19./10 名, 2003.10.24./10 名, 2003.11.28./12 名, 2004.1.23./9 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容, 成果の学術的・技術的・社会的価値, ホームページ等での公開の有無)</p> <p>< 成果の内容 > 2002 年度までに電磁場計測手法 SWG 活動を実施し, この成果としてさまざまな「建築物を対象とした各種電磁環境計測法」を提案した。2003 年度はこの統一化および標準化を目指し, 審議をしている。また, 新たに簡易な建物電磁シールド性能測定法として, 到来波による測定方法についての検討・審議を開始した。これらの活動の結果, 本年度は標準化検討のための十分な基礎資料を得た。</p> <p>< 成果の価値 > 電磁場の計測・評価方法の統一化および標準化に向けての技術的検討の基礎資料となる。本資料により展開を図ることにより所期目標の達成が可能となる。</p> <p>< 成果の公開 > 来年度, シンポジウム, ホームページ等で成果の公開を予定。この公開によりさまざまな分野から意見を聴取し, 検討・審議, 改訂を繰り返すことにより学会としての標準化の確立を目指す。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>ほぼ, 当初の活動計画通り。</p>
その他評価すべき事項	特になし